

風の子



松山市立窪田小学校

R 7.10.24 No. 6

<https://kubota-e.esnet.ed.jp/>

誇り高き窪田っ子に思う

校長 大倉 匠仁

お祭りも終わり、朝夕はすっかり秋らしくなりましたが、まだ日中は気温が30度に達するような暑さの日もあります。猛暑の影響で、今年から運動会練習開始を9月20日以降とするよう市の教育委員会から通知が出されていたため、本校においても短期集中での練習となりました。開会式の校長挨拶で「これまでのみなさんの練習態度や主体的に取り組む姿は百点満点です。今日も、窪田っ子の心意気を見せてくれるものと期待しています。」と話したとおり、ダンスの練習では笑顔で楽しく一生懸命に踊り、種目の練習ではきちんと自分の頭で理解して動いているなど、短い練習期間だったにも関わらず、密度の濃い大変充実した内容の練習ができていました。

これは、新学期が始まって間もなくのことです。昼休みや業間の時間などに校舎内を回りながら高学年の教室を覗いてみると、赤白それぞれの応援団の児童が集まり、どのような応援にするかの話し合いがもう始まっています。運動場での応援練習が行われるようになる前に、体育館とマルチパーサルームに分かれての練習もありました。10分、15分という短い時間の中で、低学年にも分かりやすく、そして更なる意欲を喚起しながら適切に改善点を伝えている応援団の児童たちの自主的な態度を目の当たりにして、「窪田っ子は、本当に育っているな」とうれしく感じました。最初はあれこれ口出し…いえ、アドバイスしていた先生方もやがては声を潜め、その立派なリーダーたちに任せっていました。窪田っ子の主体性が本物になっているのを実感した瞬間でした。

開会式の練習をしていたときのことです。赤白の代表児童4名が、朝礼台の前に立ち、凛とした声で今年のスローガンを紹介していました。そのまなざしの真剣さと態度の立派さに私は胸がいっぱいになり…思わず目をそらせてしまって、後ろにいる全校のみんなに目を移すと…中央にいる1年生から両端に立つ6年生まで全員が、しっかりと顔を上げてこちらを向き、大きな口を開け、自分たちで決めたスローガンを発表しているのです。そして、どこに目をやっても全ての子供と目が合い、合った目がそれることはないのです。今でもあの光景は目に焼き付いて離れません。

運動会の大成功を確信して朝礼台を降りた私が見上げた秋の空に、誇り高く、自信に満ちあふれた窪田っ子が歌う太陽の歌が、心地よく響いていました。

赤白全力 心は一つ 笑顔あふれる くぼたっ子

体育主任 高村 和希

今年は練習期間が短い中、天候に恵まれ、日々の練習を順調に進めることができたおかげで、子供たちは自信を持って本番に臨むことができました。徒競走や団体競技、表現活動など、どの場面でも一人一人が生き生きと輝き、仲間と声を掛け合いながら、これまでの努力の成果を十分に發揮することができました。

保護者の皆様には、温かい御声援はもちろのこと、準備や後片付けに至るまで多くの御協力をいただき、心より感謝申し上げます。皆様の支えがあってこそ、子供たちにとって思い出に残るすばらしい運動会となりました。今後とも御理解と御協力をお願いいたします。



～ 校内造形大会 ～

図画工作科主任 西森 仁美

9月上旬に造形週間を設け、学年ごとの造形大会を実施しました。1年生「のってみたいないきたいな」、2年生「生き物とあそんだよ」、3年生「あったらいいなこんな学校」、4年生「小さくなつて遊びに行こう」、5年生「重ねて広がる形と色」、6年生「わたしのお気に入りの場所」と製作テーマは様々ですが、どの児童もつくりだす喜びを感じながら、自信をもって自分の思いを表現することができました。色や形にこだわる児童、細かい部分を丁寧に仕上げている児童など、その活動には一人一人の工夫と努力が光っていました。今後は、11月に予定している鑑賞週間で全学年の作品を鑑賞し、友達の作品のよさを見付けていきます。互いの表現を認め合い、新たな発見や刺激を得られる機会にしていきたいです。

4年生の活動

4年主任 高村 和希

県民文化会館で、舞台芸術鑑賞事業『NHKみんなのうたミュージカル「リトル・ゾンビガール」』の観劇をしました。3、4年生の子供たちは、行き帰りの公共交通機関利用などで公共マナーを意識しながら行動し、周囲への気配りや社会ルールの遵守を実践することができました。

迫力ある演技や舞台演出に感動した児童も多く、心豊かなひとときを過ごしていました。本物に触れることで感性が磨かれ想像力が育まれる貴重な経験ができた、すばらしい一日となりました。



5年生の活動

5年主任 高野 奈美

総合的な学習の時間「もち米作り大作戦」の学習の一環で、「新しくなったくぼ田んぼの看板を作りたい！」「もち米を守るためにかかしを作りたい！」など、自分たちの思いを実現させようと、2学期当初から看板チームとかかしチームに分かれて製作を開始しました。看板には、自分たちが考えたくぼ田んぼにぴったりなキャラクターを描き、丁寧に色塗りをしました。かかしは各クラス3体ずつ、家から持ち寄った材料を使い、メンバーが協力し合って完成させました。すてきな看板とかかしに見守られ、10月21日に地域の方々の御協力をいただきながら、無事稻刈りを終えました。



～ 読書週間に寄せて ～

学校図書館主任 曽我部 由美

10月27日から11月9日までの2週間は読書週間です。戦後間もない1947年から始まったこの読書週間は、「本を読むことの楽しさや大切さを再確認するための2週間」となっています。

読書といえば、本校では、読み聞かせ「ふう」の会の保護者の方々が、朝の時間に定期的に読み聞かせを行ってくださっています。低学年はもちろんのこと、高学年の子供たちも熱心に耳を傾けている姿を見ると、いくつになっても読み聞かせは楽しいものであることを実感させられます。秋の夜長に、ぜひ御家庭でも読み聞かせや親子で読書をする時間を取りはいかがでしょうか。たくさんの子供たちが本好きになってくれることを願っています。

《編集後記》

運動会当日の朝、「数時間後にはここを元気よく走っているのだな」と窪田っ子が頑張っている姿を思い浮かべながら、静寂に包まれた運動場に、心を込めて白いラインを引きました。いよいよ本番開始。想像をはるかに超えたすばらしい態度とはち切れんばかりの笑顔で、全力を尽くしている子供たちの姿に胸が熱くなりました。片付けを終え、再び静かになった運動場に残された小さな足跡が、窪田っ子の成長を私に語りかけてくれているようでした。(中越)



窪田小
ホームページ